

田中しげのり、3つの提言。

藤沢市長候補／完全無欠の無所属。だからシガラミがない！

2030年、3人にひとりが65歳となる「藤沢市」
そんな藤沢市の「未来モデル」を考えています。

医療
介護
健康

くらし

全国モデルになる 高齢者にもやさしいまち

- 健康寿命延伸に向け慢性疾患予防・生活習慣病対策のための運動を実践
- 特別養護老人ホームの受け入れ増と新施設誘致のためのトップセールスを行う
- 高齢者見守りのために地域包括ケア体制を構築する

就労
子育て
学び

あんしん

地域がつながり、学び、安心して働けるまち

- 若者のセカンドキャリア支援
- 地域に根ざすための「大人が通う藤沢学校」を創立
- 高校生までの医療・教育支援
副教材無償化、医療費無料、
子供育成基金の創設で子供の自主性を育てる

観光
文化
芸術

たのしい

地域の憩いの場

観光・文化・芸術の新たなウェーブで 世界を目指す

- 湘南ピアプロジェクトで、地域の憩いの場と観光・文化・芸術の起点をつくる
- まったく新しい視点の“観光資源”を創出

みんなで創る「さいごまで安心して暮らせるまち・藤沢」モデル

<http://shige.link>

しげリンク



● 医薬連携による慢性疾患予防・ 生活習慣病対策のための運動を実践します

藤沢市住民の健康寿命延伸と医療費負担増加を見据えた取組みとして、次の3つのことを軸にした健康市政に取り組みます。

1. コグニサイズ健康運動を地域で行う
2. 薬剤師、かかりつけ医に「生活習慣を相談できる」窓口・機会を設ける
3. 市街で働く人たちに「かかりつけ医」を見付けてもらうための支援制度を検討

● 特別養護老人ホームの受け入れ増と 新施設誘致のためのトップセールスを行います

現在藤沢市内の特別養護老人ホームは12施設。入所定員は950名※。毎年、約3000名（うち市民1200名）※が入居待機となっています。この問題を解決するため、以下の順に対策を行います。

※ 参考：藤沢市介護保険課「特別養護老人ホーム申込者の推移（2015年10月1日現在）」市内特別養護老人ホーム 入所待機者数

1. 特別養護老人ホームの受け入れ体制を見直し、受け入れられる人数を増やす
2. 市民待機250名が入居可能な状態にできるよう、
現在の施設をはじめとする関係者と早急にプランづくりを行う
3. 市外の親類を呼び寄せたいと願う方、藤沢でさいごを過ごしたいと希望する方の受け入れのため、施設の増設と新規施設の誘致をトップセールスで行う

● 高齢者見守りのために地域包括ケア体制を構築します

この政策については、次のようなステップで取り組みます。

1. 認知症サポーター養成講座・地域医療セミナーで専門職間の連携を深める
2. 地域医療情報をわかりやすく公開・活動できるように
3. 在宅介護のうち、介護職員初任者研修を持つ人が自身の親族の介護を行う場合、所定の手続きで支援がされる制度を（介護離職対策）

田中しげのりの「くらし」についての提言を

もっと詳しく読む



● 若者のセカンドキャリアを支援します

藤沢には、多くのプロスポーツ選手が関わりを持っています。こうしたプロフェッショナルの引退後のセカンドキャリアとして、これまで培った能力や技術を活かせる就労の機会を生み出す支援を実施します。

1. 提携自治体の青少年のスポーツ活動支援指導員として活躍できるような取組みを開始
2. 地域の高齢者健康指導員、健康体操指導員など、「くらし」で提案する、慢性疾患・生活習慣病予防のための健康運動を広める健康サポーターとして活躍してもらえるような道筋づくり
3. 湘南ピアプロジェクトで開催する「マリン教室」でマリンスポーツの指導を行ったり、海岸環境保全指導を行う「藤沢ビーチセーバー」として活躍できる場づくりを推進

● 地域に根ざすための「大人が通う藤沢学校」を創立します

65歳から75歳未満の前期高齢者を中心に、地域連携を促す場として「大人が通う藤沢学校」を創立します。そのコンセプトは次の通りです。

1. 勇退後など、地域に戻った人たちがこれまでの経験やスキルを活かして「教え合い、学び合う場」とする（高齢者や地元との関わりが少ない方の“地域デビュー”支援）
2. 外部から専門家を招き、健康寿命延伸のために身につけたい知恵や知識を学ぶ
3. 地域の学校現場で、これまでの経験を次の世代に伝える活動を行う
4. 参加者の健康状態をチェックする機会を作り、慢性疾患や生活習慣病の予防対策プログラムに早い段階で参加してもらえるように促す

● 高校生までの医療・教育を支援します

ライフスタイルが多様化する藤沢で、「子供たちにのびのびと育てもらう」ために、「大人が通う藤沢学校」と連携させて、より地域のつながりを深めてもらう。例えば、今ある児童クラブの機能を活用したり、帰宅時刻の遅い子供たちと地域の大人たちが一緒に夕食を囲む場を設けるなどの取り組みを、試験的に実施したいと思います。

1. 高校生までの医療費無料化
2. “みんなの食堂”実験
3. 副教材費の無償化に向けた取り組み
4. 子供育成基金を創立
5. 公立小中学校に出納専任の職員を配置

田中しげのりの「あんしん」についての提言を

もっと詳しく読む



たのしい

地域の憩いの場を創出し、
観光・文化・芸術の新たなウェーブで
世界を目指す

● 湘南ピア（栈橋）プロジェクトで、 地域の憩いの場と観光・文化・芸術の起点をつくります

日本を代表するビーチカルチャー発信のまち・藤沢は、日本を代表する海を擁するまちです。
ここに、ピア（栈橋）を中心にした、観光・文化・芸術の起点を作るために、プロジェクトを立ち上げます。
湘南ピア（栈橋）プロジェクトの概要は、次の通りです。

1. 藤沢の海、ピア（栈橋）を中心とした地域の憩いの場の創設
2. 海にまつわるスポーツや文化を学ぶことで、
藤沢の海への親しみを育み、豊かな海洋を保全する意識を高める
3. 周囲を含めて「スポーツを楽しむ機会」を創出できる場とする
4. 地元や民間企業、行政のチカラを結集させ、将来的に財政を支える観光資源とする

● 新しい“観光資源”として、誰でも使いやすく、 キレイで管理がしやすいトイレを民間と共同開発 藤沢モデルとして世界に発信します

国内外の観光客、特に東京五輪に合わせた観光客増への対策のひとつとして、公衆トイレの不足や清潔さ向上に取り組めます。概要は次の通りです。

1. 既存のトイレを民間企業と一緒に、キレイなものにする
2. 各地の観光地でも課題となっている点にいち早く、民間企業と一緒に取り組むことで、
「藤沢モデルのトイレ」を「世界に誇れる観光資源」とする
3. 「藤沢モデル」として売り出すことで、地域の知名度を「魅力的な観光地」としてだけでなく、公衆衛生に先進的に取り組む、ハイレベルな都市として認知してもらう

田中しげのりの「たのしい」についての提言を

もっと詳しく読む



<http://shige.link/fun>

田中しげのりの政策提言・気づき・アイデアを発信しています！

<http://shige.link>

しげリンク

